

2023年10月31日

## 新造船「ふがく丸」進水

CO<sub>2</sub>排出量 約30%削減

株式会社フジトランス コーポレーション（本社：名古屋市港区、代表取締役社長：系井 辰夫）は10月31日、山口県下関市の三菱造船株式会社で内航 RORO 船「ふがく丸」の命名・進水式を行いました。



現在運航している2代目「ふがく丸」の代替船として建造を進めており、2024年春に就航する予定です。

フジトランスグループが持続可能な社会の形成に貢献するために策定した長期方針「フジトランス サステナビリティ ビジョン 2050」を基に、カーボンニュートラルに向けた「環境にやさしい船」を実現しており、国土交通省が運用している「内航船省エネルギー格付制度」で★★★★★の獲得を目指しています。

2代目「ふがく丸」と比べると、サイズアップや構造の工夫により積載能力を向上しつつも、CO<sub>2</sub>排出量は約30%削減を達成しています。また、船内は車輻区画、トレーラー区画合わせて8層あり、トレーラー区画は支柱を無くすことで、荷役効率の向上を図っています。

昨今モーダルシフトが推奨されるなか、当社自社船舶を活用していただけるよう、お客様のニーズにあった輸送能力、輸送体制で、さらなるサービスの拡充を図り、社会のインフラを支えて参ります。